

「在宅栄養管理指導マニュアル作成への取り組み」

市立四日市病院 NST 看護部¹⁾ 歯科口腔外科²⁾ 栄養管理室³⁾ 薬局⁴⁾ 外科⁵⁾
東條玲子¹⁾ 田中孝子¹⁾ 森美穂子¹⁾ 小方あゆみ²⁾ 藤江久代³⁾ 濱野友貴⁴⁾
蜂須賀丈博⁵⁾

【はじめに】

当院は、急性期病院として救急医療・高度医療など急性期医療を提供し、三重県の北勢地域において基幹病院の役割を果たしている。そのため、医療処置が必要な状態で退院となる患者が増加している。退院後、地域の病院へ転院する場合は看護サマリーなどに情報を記載し連携しているが、在宅へ退院される場合はそれぞれの病棟がその時々で対応しており、統一されたものがないのが現状である。そこで今回、退院調整委員会と NST 委員会とが協力し、栄養に関する在宅栄養管理指導マニュアルの作成に取り組んだので報告する。

【取り組みの実際】

平成 26 年度に医療処置が必要で自宅退院された患者の件数を調査したところ、訪問診療、訪問看護へ引き継いだ件数は全部で 174 件であった。そのうち栄養に関する内容は 27 件であったため、各病棟での指導状況の実際を把握した。退院調整委員会と協力し医療処置の中で栄養管理に関わる内容を検討し、胃瘻、栄養剤の半固形化、CV ポート管理、口腔ケアについて取り組むこととした。写真、イラストを用い在宅栄養管理指導マニュアルを作成した。退院調整委員会主催の訪問看護師との研修会にて実際に指導マニュアルを見てもらい意見交換を行った。実際に活用した看護師に意見、感想をもらった。

【まとめ】

栄養に関する在宅栄養管理指導マニュアルの作成を行ったことで、どの患者においても一定レベルの統一された指導が行えるようになった。当院から医療処置を継続しながら在宅へ退院する患者の件数は少ないが、患者、家族の希望に沿い安心して在宅で過ごすためには必要なことであると改めて実感した。今後も退院調整委員会や地域の訪問看護師と連携をして、退院後も安心できる栄養管理を継続させていきたいと考える。